

「BELIEVE」

BELIEVE

2010
新年号
VOL.31



●院内災害訓練レポート

●シリーズ 情熱の白衣・看護師レポート



古谷 秀男 素材:ペン、紙

〈大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています〉

奈良〈大和高原太陽の家〉所属 エイブルアート・カンパニー登録作家 <http://ableartcom.jp>

テーブルの上の大きなかぼちゃ。よく見ると、つるは土壌にまだ根をはっており、画面をおおう葉っぱは青や赤に輝いています。ブラジルで元気に働いていたころの収穫の願いを、伸びるつるやたくさんの実に託して描いたのだそうです。

大阪赤十字病院の基本理念

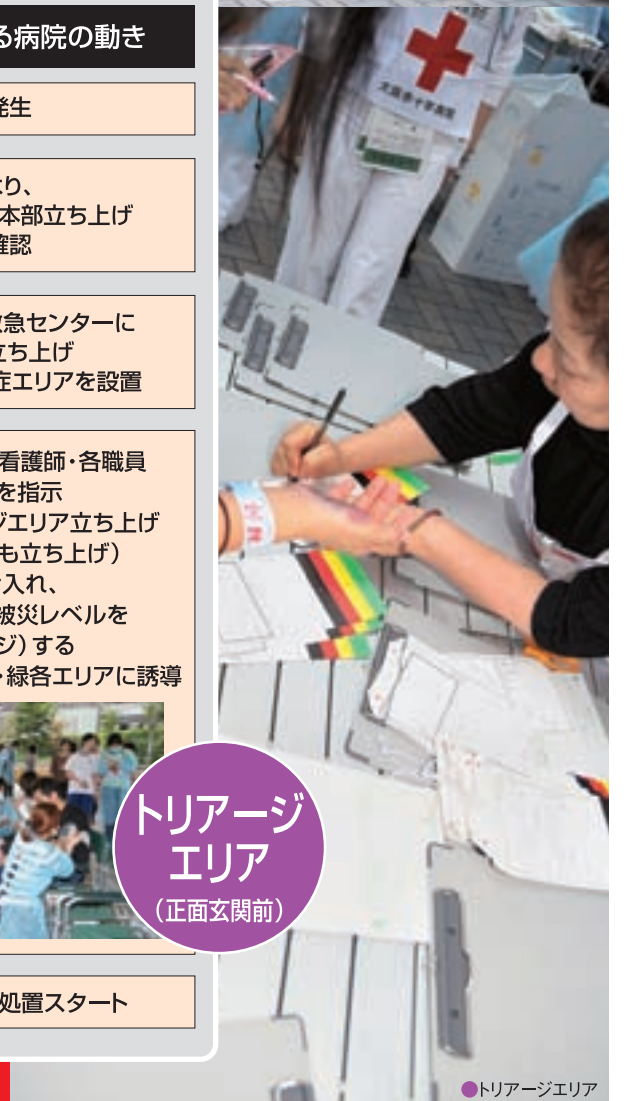
わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します



被災地



●トリアージエリア

院内災害訓練レポート

◆訓練実施日／2009年10月1日

災害拠点病院として、2005年よりスタートした院内災害訓練。新病院でどう動けるか、事前情報なしでの訓練、外部防災機関との連携などを経て、今年は休日災害における訓練がテーマ。見えてくる課題・よりよい訓練のあり方とは何か、今回は災害・救援現場のレポートと参加者の声をお伝えします。

被災地 (看護専門学校)

地震で倒壊したがれきの下になった人、大きくひしゃげた車の中の被害者、軽い傷で助けを呼ぶ人、脚や頭を怪我して動けない人と、あちこちで被災者が救助を待つ状態。地震が発生してから10分足らずで警察が到着し、被災地の状況確認と、被災者の確認を行います。ほどなくして着いた消防隊が被災者を確認し、「大丈夫ですか、歩ける人はいますか?」と呼びかけるのに対して「助けてください!」「ここにも人がいます!」と声が飛び交います。そして救助隊によってまだ取り残されている被災者の救助がスタート。応急処置で済む人、担架で運び出される人と、重症度に応じて応急救護所・救急車で病院に運び込まれていきます。

赤エリア (救命救急センター)

災害発生時に関わらず、もっとも医師・看護師が多い救急部が赤エリア。当初、災害対策本部も同じスペースにあったため、担当エリアの指示を受けにくくなる医師・看護師、被災者の搬入を待つ赤エリア担当者で、つた返しています。処置に必要な薬剤・器材などが準備され、数10分後には重症被災者が搬入されてきます。休日の災害のため、レントゲン検査や、手術する外科医師・麻酔医など、必要な人員がそろったまでは動けない場合も。人員が集まって緊急手術が必要と診断された人は手術室へ。手術処置が終われば救急病棟へ入院します。

黄エリア (1階ロビー)

いきました。赤エリアから運びこまれたり、自分の足で歩ける被災者が来たり、中には手術が必要な被災者がいると赤エリアに誘導したり、受け入れる医師・看護師の数が足りないほどに。災害発生当日は休日のため、徒歩などで登院してきた医師・看護師が補充されていき、「ケガしたときの状況、覚えてますか」「頭は打つてない?」と、問診からエコー検査や点滴などの処置を行っていきます。

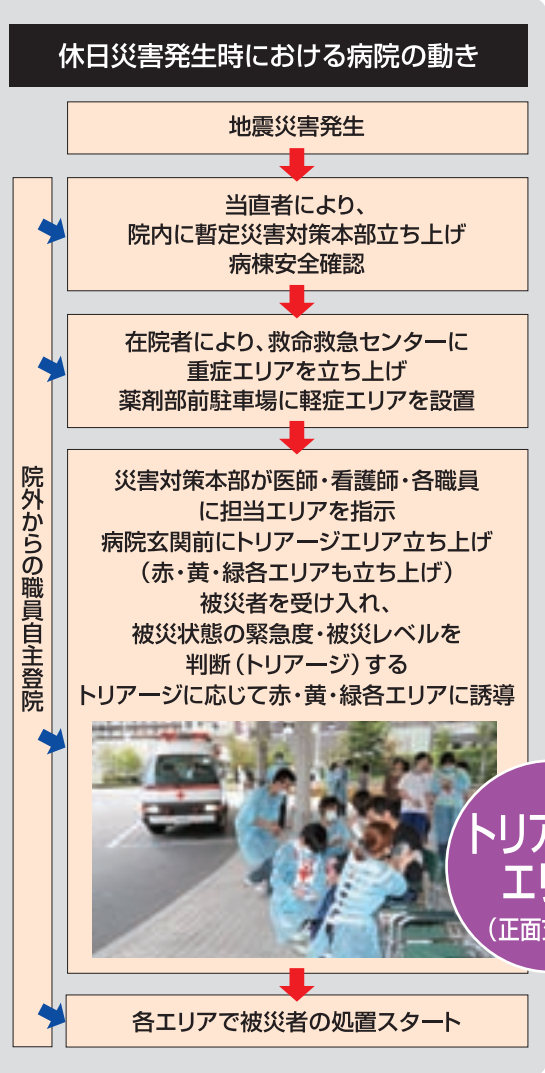


緑エリア (薬剤部前駐車場)

病院の外からの被災者、軽症者を受け入れる緑エリア。設置場所が屋外の駐車場だったため、 TENTを張ったり、被災者のための椅子、薬剤器材の配置場所など、場所を生かして効率的に配置していきます。軽症者だけでなく、このエリアから黄・赤エリアの誘導が必要な被災者もいて、処置を待つ人がどんどん増えていきます。ケガの消毒や包帯を巻いたり、薬の処方の後、帰宅するよう促します。



↑軽症の被災者が並ぶ玄関前で。体調・傷の状態を見ながら処置します。



トリアージ
エリア
(正面玄関前)

参加者の声



被災者

- 救急隊の人たちが必死で救助していた。けれど、声をかけてもらえるまでがとても長く感じた。
- 救急救命士の判断がとてもの確だった。
- 救出まで時間がかかったが、常にそばにいてくれたのが心強かった。
- 救出から治療に至るまで多くの人がお世話になった。感謝を忘れないことが一番大事。



↑被災者の状態が記入されたトリアージタグを確認。被災者は応急手当を受け救護所へ。重症者は救急車の搬送を待ちます。

←建物の上階に残された被災者を救助隊がはしごで救出。地下階の引き上げ救助も行われます。



↑がれきの下になった被災者の救急救命士による救助。「大丈夫ですか!もう少し待ってくださいね」など声がかけられる。

参加者の声



救護者

- 休日のため検査の復旧に時間がかかり、被災者を長時間待たしてしまわないようにしたい。
- トリアージタグの使い方、災害医療はいつもの看護と違うので、その知識の大切さを感じた。
- 重症度によって優先順位のつけ方の難しさを被災者になってみて肌で感じた。



↑重傷者対応の赤エリアには院外からの被災者が運び込まれ、騒然とした空気。



↑緊急手術が必要な被災者は検査の後、手術室へ。迅速な処置が行われます。

参加者の声



救護者

- レントゲンを待つ被災者が多い。本当に必要なかどうか的確な判断が必要。
- 被災者情報を把握するのに時間がかかり、診察するの、赤エリアに誘導するの、混乱していた。
- 適切な処置がされずにいた被災者もいたので、どこまで処置をするかの理解が不十分。
- レントゲン待ちの時間が長く、自分の順番がちやんと来るのが心配だった。
- 人数や場所の制限が多く、スムーズな処置の難しいことがわかった。
- 検査待ちの間も声かけや他の傷を調べてくれた。



↑被災地でつけられたトリアージタグをチェック。どんな診断され、どう処置したかが書き込まれます。



↑被災した状況によってエコーの検査も実施。外からはわからない変化を診察します。医師・看護師・事務職員が協力して、エリアの設営にかかります。→

災害対策委員会より(訓練のまとめ)

今年の訓練は休日である日曜日の想定。どの担当医師・看護師が、何人来るか、何時に来るかもわからない状態で行われました。休日のために普段とは異なる被災者の治療・看護、導線が変わったときの対処がその場で求められるなど、参加者個人個人が救急医療・看護における意識向上が重要になってきます。災害の際、どこに配置になるかわからない救護エリアで、どんな動きができるのか。今回の訓練を受けて課題となった点の一つ一つ改善し、災害の備えとなる訓練を行っていきます。

参加者の声



救護者

- 雨の場合や風・日差し強い場合も、エリアの確保・被災者の保護ができるようにしたい。
- リーダーがつねにエリアの中心で指示していたので、全体的な動きもスムーズだった。
- 声をかけてくれるだけでなく、こちらの質問にもきちんと答えてくれたので落ち着くことができた。
- 被災して、歩いて病院に行ったときに、まずどこに行けばいいのかがわかりにくかった。



↑緑エリアの立ち上げ。処置器具や薬剤を使いやすい導線に沿って準備。

まだまだ治療や手術を待つ人がいる。 待つ人を助ける体制を整えていかなければ。

循環器科 部長 稲田 司



**血管が
つまる病気が
治療すれば治る。
けれど
誰にでもなる
可能性があります。**

休日も仕事に追われていた十数年
前に比べて、最近で
は1カ月に1回は
休日をとるように

なったという稲田医師。週1日ある新
患の外來診察には1日に平均30人も
診察し、再来院の診察には1日平均
60人、外來以外の日はカテーテル手術。
休みの日以外は仕事漬けの稲田医師に、
医師になったきっかけを聞いてみた。

「医者になると忙しい、とか先入観
がなかったんですね。ピアノをやってい
たので、仕事しながらピアノも弾ける
んじゃないかって。そのまま内科の勉強
をして、血液内科という分野の研修に
入りました。」

血液内科の仕事は、顕微鏡を使い
ながら診察をする血液の病気と関わる科。白
血病やリンパ腫など、当時は治らないといわれた
病気と向き合うことに。「白血球やリンパ腫など、
今は“治る”ことも期待される病気ですが、昔は
まず“不治の病”といわれるものでした。どんど
ん患者さまが亡くなつていくのを見るのがとて
も嫌でした。」

その研修時代を経た後に循環器科に移る
こととなり、「救急で運ばれてくる患者さまでも
循環器の病気の場合は、判断して治療できる、
助けられる人がほとんどなんです。治療すれば
治る、そうできるのがとてもうれしかったですね。」

現在、稲田医師が中心に関わるのはカテー
テル手術による治療。血管を広げるための手術で、
死亡数が高いといわれる脳血管、心血管、悪性
疾患の3大疾病のうちふたつが血管のつまり
が原因とされるもの。「血管がつまる、動脈硬化



お子さんの演奏会には伴奏で共演。親子共演の楽しみのためにも、まずはピアノ練習が今いちばんの願いだそう。

は老化現象の側面をもちます。特定の人がなる
ものでなく、誰にでもそうなる可能性があります。
けれど治療をすれば良くなるので、カテーテルの
手術は多いです。カテーテル治療は70年代から
スタートして、いま成熟期。わたしの世代は現場
で働きながら、今後現場の中心となつていく若
手を育てています。本人に検査や手術をやつて
もらつて技術を習得していくので、手術はベアで
担当。部長になつてからは、本当に忙しいですね。」

**休みの日にはピアノを弾きたい。
いつか家族でコンサートも。**



profile
TSUKASA INADA
10月9日、愛媛県生まれ。京都大学
医学部卒業。同大学医学部附属病
院研修医を経て、平成2年に静岡県
立総合病院の研修医に。平成4年に
京都大学大学院医学研究科に入学、
平成8年卒業後に同大学医学部附
属病院勤務の後、大阪赤十字病院
に赴任。循環器科部、救急部、集中治
療部をまわる多忙な日々をおくっている。

毎月1回のあるかないかのお
休みの日に、稲田医師が過ごし
たい時間。それはピアノを弾く
ことだそう。「子どもの頃から
15歳ぐらいまでやつていたので、
ピアノの演奏家になりたかった
ですね。二人の子どもがチェロ
とバイオリンをやつていて、発表
会でピアノ伴奏を担当したり。
今はなかなか弾く機会がなく、
車の移動中にバッハやモーツァル
トを聴いています。」

好きな音楽を聴いて心安ら
ぐ束の間の時が過ぎれば、診察や手術の仕事
に集中する時。稲田医師が携わる循環器科には、
CCU(重症患者集中治療室)や心臓専用オペ
室など、受け入れる患者数は増える一方。手術
が必要な病気を専門とする大きな病院と地
域のかかりつけ医院とが医療連携をし、より
多くの患者さまを受け入れられる体制ができ
れば、稲田医師の思いは、治療を待つ患者さまと、
よりよい医療のあり方に行き着くのだった。

看護師レポート



橋田 美帆
MIHO KITSUDA
11月20日、奈良県生まれ。大阪赤
十字看護専門学校卒業後、平成5
年に大阪赤十字病院に就職して以来、
救急部、ICU、小児科、健診センター、
手術室看護を経験。現在は3人の
子どもを育てながら、循環器科病棟の
看護にあたっている。

**看護師はやつてみて楽しさがわかる
子育てしながら仕事できることに感謝です**

看護師になるきっかけをくれたのは、祖母でした。祖母は
看護師をしており、病院でキビキビ働いている姿を見て、
「働く女性ってカッコいいなあ」と思っていたのを覚えてます。
看護学校を卒業して、赤十字病院に勤めたのはじめの配属先は、
救急部やICUの、緊急な医療を行う場所。そのとき、そのと
き出会う患者さまに、今できることは何か？を常に判断を
して、話すことができない患者さまからの小さなサインを見
逃さないよう、医師と看護師のチームワークによる治療・看護
を行います。その後、小児科や手術室の看護を担当し、現在
は主に循環器科や消化器科の病棟看護を受け持っています。
これまでの患者さまのような短期集中的に行う看護とは違
つて、現在の看護は、長年の間、日常生活でたまってきたものが
心臓や消化器官の病気となつて表れ、病気を繰り返してしま
う患者さまが多く、その要因を探るといった中・長期的なもの。
慢性疾患と向き合いながら今必要なこと、退院してからご自
宅でうまく体調管理ができるかどうかをケアしていくといった、
新しい看護を経験しています。



左からお子さんの菜(しおり)ちゃん、隼(はやと)くん、
遥(はるか)ちゃん。「お母さんは看護師さん」とわか
っているようで、ケガした友だちを連れてくるのだとか。

家に帰ると家事と子育て。毎日に
メリハリがありますね。子どもが3
人いますが、夫は同業のため仕事の
状況も理解してくれ、家事や子育
ても協力してくれています。上の子
が下の子の面倒を見てくれるよう
になつて、働く母親としては協力して
くれる家族や職場環境ですが、子
どもの健康に感謝しています。なか
なか家族みんなの休みが合わないのです、休みがとれたら
旅行に行くなど、普段はできないことを家族でしたいです。
今そのときの看護ももちろん大事ですが、先を見すえた
看護が必要です。患者さまからの訴えを選別して、適切な
看護ができるよう、がんばっていききたいです。

お薬手帳をご存知ですか？

薬剤部 薬剤師 原田 慶子

ミニ知識

お薬手帳は、あなたが今までに服用したり、使った薬の名前や飲む量、以前に経験した副作用などを継続して記録するための手帳です。

お薬の飲み合わせのチェック

複数の病院や診療科にかかっていたり、多くの薬を処方されている場合、飲み合わせによって、効果が強く現れたり、逆に効果が弱まってしまうこともあります。**薬局・薬店で買った市販薬やサプリメントも記録しておきましょう。**



以前飲んで合わなかった薬のチェック

薬を飲んで副作用が出たり、合わないと感じた場合、薬の名前とその時に出た症状を記録しておきましょう。

症状の変化のチェック

薬を飲んだ時の症状の変化を記録しておきましょう。たとえば、「とてもよく効いた」「眠くなった」「のどが渴いた」など。次回受診する時に相談したいことや、薬局で聞いてみたいことを書き込むこともお勧めです。

旅行に出かけるときや、病院にかかるとき、薬局などで市販薬を買う時には、お薬手帳を持って行きましょう。そうすることで、あなたに合ったお薬を選ぶことができます。病院にはカルテがあるように、お薬手帳という、あなた自身の記録を作って活用してみませんか。



●気になるアンチエイジング● 栄養管理課 管理栄養士 谷口 留美

冬になると、乾燥や新陳代謝の低下など様々なダメージを受けやすいため、気をつけなければならない季節です。今回は抗酸化作用のある食物について説明したいと思います。

からだには、先天的に活性酸素に対する防御システムが備わっていて、体内にある酵素や体外から摂取するビタミンやミネラルなどを使って、活性酸素の処理をしています。しかしいずれにも限界があるため、処理きれないほど大量の活性酸素が発生すると、からだは大きなダメージを受けてしまいます。ダメージを受けた体には、抗酸化物質を含む食品を摂取することが有効です。活性酸素を消去するものには、抗酸化酵素やビタミン、ミネラルなどがあります。ビタミンはA・C・Eを同時に摂ると、抗酸化作用がパワーアップします。最近では、若返りの補酵素として話題のコエンザイムQ10などの抗酸化力が注目されています。コエンザイムQ10は油によく溶けるので、食品から摂る場合は、油を使う調理法がお勧めです。抗酸化食品を毎日バランスよく食べて、からだの酸化を防ぎましょう。



抗酸化物質を多く含む食品

ブルーベリー、プラム、
プルーン、キウイ、オレンジ、
ピンクグレープフルーツ、ブドウ、
イチゴ、トマト、小豆、ほうれん草、
ナス、タマネギ、ブロッコリー、
キャベツ、トウモロコシ
など



活性酸素を消去する
ミネラルを多く含む食品

マンガン
(玄米、そば、がんもどき、
栗 など)
亜鉛(牡蠣、ココア、小麦胚芽、
ナチュラルチーズ など)
銅(牛レバー、するめ、しゃこ、
いいだこ、牡蠣 など)

細胞を若々しく保つ
コエンザイムQ10を多く含む食品

いわし、さば、
豚肉、牛肉、
ピーナッツ、
乾燥大豆全粉、
ほうれん草、
ブロッコリー、チーズ
など



がんサポートチームからのお知らせ⑥

「かかりつけ医」と「訪問看護」

がんサポートチーム 入退院支援課看護師 谷口 和子

「地域の医療機関」と「急性期病院」がそれぞれの機能を生かし連携しながら一人の患者さまを診ていくことを「地域医療連携」といいますが、当院では積極的に地域の診療所や訪問看護ステーションとの連携に取り組んでいます。治療を続けながら自宅で療養されている患者さまやご家族が安心して過ごしていただくための1つの方法として「かかりつけ医」と「訪問看護」の利用があります。

「かかりつけ医」は日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近なお医者さんのことをいい、患者さまやご家族の身近な存在として精神的サポートや病院と連携しながら必要な薬の処方、点滴などを行なってくれます。

「訪問看護師」は、患者さまの自宅に伺って、医師の指示のもとに医療的処置や、在宅療養を送る上での指導・アドバイス、そしてかかりつけ医と同様、患者さまやご家族の身近な存在として精神的サポートなどを行ないます。

「がん」と診断された患者さまの中には、病気の進行に伴って起こる様々な症状への不安や、治療など今後どうしたらいいのか悩んでいる、通院するのがつらい、相談ののってくれる人が身近にいないなど、何らかの不安や悩みを抱えている方も多と思います。

病院という1つの医療機関だけの関わりではなく、かかりつけ医や訪問看護師

など様々な人達のサポートを受けながら過ごすことで、このような不安や悩みが、解決されることも少なくありません。かかりつけ医を持つことが当院の関りがなくなるということではなく、身近な存在のかかりつけ医と専門的な治療を行う当院との連携によって患者さまがより安心して在宅での療養生活を送っていただけるのではないかと思います。

かかりつけ医や訪問看護を利用する時期については、患者さま・ご家族の希望や意向が大切ですが治療状況等を合わせ主治医や看護師に相談してください。そして医師や看護師に『私はこんなふうに過ごしたい』ということをしっかり伝え、話し合うことが大切です。

かかりつけ医を選ぶ際は、24時間往診が可能な体制を取っている『在宅療養支援診療所』が望ましいですが、現在の状況や今後予測される上で必要なことを考慮し、自分に合った診療所・クリニックを選ぶことが大切です。「往診が可能」「医療処置や医療機器の対応が可能」また「現在服用している痛み止めなどの薬の処方が可能」などがポイントになります。

かかりつけ医の診療費・訪問看護料など費用に関する質問や何処に相談したらいいかなど、詳しくは各病棟の医療スタッフや2階のがん相談支援センターにご相談ください。

当院では、がん全般に関する様々なご相談をがんサポートチームの看護師がお受けしています。

がん看護相談室 TEL:06-6774-5192

FAX:06-6774-5126

syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

●毎週火、金曜午後2時～4時(予約制) ●本館2階・8番窓口(随時)

次回は新シリーズを予定しています。

「身体障害者手帳について」

医療ソーシャルワーカー 野村美奈子

「身体障害者手帳」って聞いたことがあるけれど、実際どういう人ならもらえるものなの？と思われる方は多いのではないでしょうか。手足に障害のある方だけでなく、内部障害についても認定されている障害もあります。どのような手帳の種類があるのか、またどんなサービスが利用できるのか、簡単に紹介いたします。

●対象となる障害●

- ◆ 肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能障害)……………1～6級
- ◆ 膝関節・股関節に人工関節を入れた方も対象になります。
- ◆ 視覚障害……………1～6級
- ◆ 両目の視力の合計や、視野の状況によって認定されます。
- ◆ 聴覚障害……………2～6級
- ◆ 音声・言語・そしゃく機能障害……………3・4級
- ◆ 喉頭を摘出された方、脳梗塞などの後遺症により言語機能に障害が残った方などが対象になります。
- ◆ 内部障害……………1・3・4級
- ◆ 心臓機能障害
- ◆ 腎臓機能障害／透析を行う方も対象になります。
- ◆ 呼吸器機能障害／在宅酸素を開始された方も対象になる場合があります。
- ◆ ぼうこう・直腸機能障害／人工肛門や尿路変更のストマをつくられた方が対象になります。
- ◆ 小腸機能障害／小腸疾患により、中心静脈栄養や経腸栄養が必要な方が対象になります。

●利用できるサービスの一部について●

- ◆ ホームヘルパーの利用(障害区分認定の手続きが必要です)
- ◆ 補装具の給付(盲杖、眼鏡、補聴器、義足、車いす、歩行者など)
- ◆ 日常生活用具の給付(特殊寝台、特殊マット、スエ、ネブライザー、たん吸引器、視覚障害者用情報伝達支援用具、人工喉頭、ストマ用装具など)
- ◆ 医療費助成(主に身体障害者手帳2級以上が対象)
- ◆ 所得税・住民税・相続税の障害者控除の適用 ◆ 公共交通機関の割引
- ◆ タクシー利用料金の割引(割引) ◆ 公共施設入場料の免除や割引
- ◆ 自動車税の減免 ◆ 高速道路及び有料道路の通行料の割引
- ◆ 駐車禁止除外車両の指定
- ◆ 携帯電話利用料金の割引 など



身体障害者の認定には指定医の診断が必要です。認定についてのご相談は、まず主治医か、2階8番窓口でお伺いいたします。
サービスの利用については、所得に応じて部自己負担が生じたり、条件が設定されていますので、詳しくは医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

相談窓口 本館2階8番窓口 医療・福祉相談支援センター

参照:大阪赤十字病院90年史、院内誌

新本館へ 昭和60年～ 大阪赤十字病院100年の日々④

今年で100周年を迎える大阪赤十字病院。病院が見てきた歴史、めざしてきた医療、守り続ける赤十字精神の姿をご紹介します。

「赤十字の看護師」

ナイチンゲールの看護精神を自覚する 荘厳な戴帽式のもとに

1年間の学業を終え、2年生に進級して、日本赤十字看護師としての適任を認められる戴帽式。大阪赤十字看護専門学校では、入学・卒業式とともに戴帽式が三大儀式として毎年4月に行われています。

この戴帽式は第二次世界大戦後、日赤看護師の認証式として、昭和22年に制定され、昭和24年より赤十字看護学校ではじまったもの。キヤンドルサービスはナイチンゲールが戦場の病院でひとり、灯をかざして傷病者を看護した、献身的なナース精神の象徴です。この日、赤十字歌「四方の国」の斉唱より戴帽式が開会。晴れて戴帽を受ける看護学生の名前が一人ひとり読み上げられ、講堂の壇上に立ち並ぶ看護学生に、純白の赤十字マークの帽子が授けられます。帽子を受け、ローソクを手にした学生によってキヤンドルサービスははじまります。

バッハ『トッカータとフーガ』の名曲の流れとキヤンドルの灯がゆれる幻想的な時間。「灯は周囲を明るく、暖かく照らす。そして燃えて細くなっていく。看護師であるみなさんのお仕事も、世の中を明るく照らす崇高なものであってほしい」とのお祝いの言葉とともに、厳粛な雰囲気の中、喜びあふれる感動的な戴帽式を経て、それぞれの赤十字看護師としての自覚を新たに、「愛と信頼」の赤十字看護師の仲間入りをするのです。

昭和51年に大阪赤十字高等看護学院から大阪赤十字看護専門学校と改称し、平成20年現在まで、5960名の卒業生を送り出しました。女子学生と同じ授業・実習を受けた(産婦人科系臨床実習のみ精神科の臨床実習に替わる)男子学生の看護士も卒業しているほか、臨床看護をはじめ、保健師・助産師・養護教諭・看護学校教員などとして、多方面にわたる職域で活躍。また、卒業生の中より12名のフーレンス・ナイチンゲール記章の受賞者も輩出しています。



ひとりひとり純白の帽子を授かり、一人前の看護師としての第一歩を踏みだします。



戦中時代に活躍した従軍看護師。



昭和18年ごろの看護学生の姿。

【病院の歴史】

1985(昭和60)年～2008年(平成20)年
災害拠点病院の指定
新本館移転
日本赤十字国際医療救援拠点病院に指定

【日本の歴史】

1985(昭和60)年 日航ジャンボ機墜落事故
1989(昭和64)年 昭和天皇崩御
1995(平成7)年 阪神淡路大震災
2001(平成13)年 NY同時多発テロ

● 地域医療支援病院の承認について

当院は平成21年11月30日を以って、医療法第4条に定める「地域医療支援病院」の承認を受けました。

地域医療支援病院とは、各地域（概ね二次医療圏）での医療の確保のために必要な支援を行う医療機関であり、地域の病院・診療所などと共同で診療を行う、地域医療の要となることを目的に設置されます。

【主な承認要件】

- ・他の医療機関からの紹介率が
 - ①初診紹介率80%以上
 - ②初診紹介率60%以上で逆紹介率が30%以上
 - ③初診紹介率40%以上で逆紹介率60%以上であること。
 当院は初診紹介率60%以上逆紹介率30%以上での承認です。
- ・他の医療機関に対して高額医療機器や病床を開放し、共同利用すること。
- ・地域の医療従事者の向上のため、生涯教育等の研修を実施していること。
- ・24時間体制の救急医療を提供すること。

● 創立百周年記念式典を行いました

11月14日（土）、シェラトン都ホテルで当院と看護専門学校の創立百周年記念式典を行いました。式典には、府・市幹部、地元選出の府会・市会議員、地域住民の皆様、関連・近隣病院医師、日本赤十字社本社・支部職員、現職職員など約240名が参加しました。



式典に先立って、当院の100年を紹介するDVDの上映と清水達夫名誉院長（前院長）の講演がありました。講演では、明治42（1909）年の開院当時の数々の写真の紹介や、かつての病院前の道路が難波宮朱雀門から真南に下る「朱雀大路」であったことなどが紹介されました。式典では、本社・支部の挨拶、来賓祝辞のあと、看護学生131名が赤十字のイメージソングを合唱し花を添えました。

100年前、桃の木の生い茂る筆ヶ崎の地に病床数200床の「日本赤十字社大阪支部病院」として建った当院は、周囲の土地確保や増改築を重ね、日本陸軍や進駐軍に接収された暗い時期を経て、平成15年から現在の建物となりました。これからの百年も、地元の皆様に愛され、多くの医療機関から信頼される病院でありたいと思います。



なお、創立百周年を記念して病院正面に記念碑を設置しました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年、当院は百周年を迎え、百年後の未来に向けてタイムカプセルを埋設しました。カプセルの中には、百年後の未来へのメッセージ、「百年史」、現在の病院や周辺の風景・働く職員の姿を撮影した写真、院内誌（職員向け）、院外誌「びりーぶ」、最近の新聞などがはいっています。百年後の人々が現在の我々の姿・くらし・医療の現状をみたと、一体どのような感想を抱くか気になるところです。46億年前に地球は生まれ、哺乳動物の中の霊長類の誕生は今から約6,500年前と言われています。そんな宇宙の大きさからみれば、百年という歳月さえほんのひと時にすぎません。それでも一人ひとりの人生には物語があり、重みがあります。そして病院にも歴史が刻まれていきます。101年目を踏み出す大阪赤十字病院を今年もよろしくお祈りします。 (TM)

● 地球にやさしく！ ゴミの分別をお願いします

当院では、地球環境に配慮するための活動を積極的に展開しており、院内の選抜メンバーが集まって、1～2カ月に1度の割合で、エコ推進についてエコロジー推進委員会で議論しています。院内には、アチコチに分別用のゴミ箱を設置していますが、ゴミ箱の中にはペットボトルやカンやティッシュペーパーなどが混在しているものがあり、分別収集がうまく機能していないことがわかりました。そこで、家庭ゴミまでの細かい分別は難しいが、せめて資源ゴミとして再利用されるビン・カン・ペットボトルは指定のゴミ箱に捨てていただくよう推進しようということになり、分別用ゴミ箱に手作りの表示シールを貼って、ひと目で解るようにしました。また、職員用の分別、分別ゴミ箱の数が不足していることも判明したので増設しました。誰でもができる地球にやさしい取り組みを充実させていきます。ご来院の皆さまにおかれましても、どうかゴミの分別にご協力をお願いします。



● 大阪赤十字病院創立百周年記念コンサート

創立百周年を記念して、10月10日（土）にはオータムコンサートが、12月13日（日）にクリスマスコンサートが2階総合ホールにて開催されました。オータムコンサートでは当院の鳥井祥子薬剤師・畔柳弥生薬剤師によるピアノとエレクトーンの演奏で、曲目は「美女と野獣」・「ハナズキ」・「渡る世間は鬼ばかり」・「ドラエモンのうた」など全8曲で1時間にわたる楽しい午後のひと時を過ごしました。

またクリスマスコンサートでは、第1部では当院の能木沙織薬剤師・木崎早矢香薬剤師と他2名によるフルート演奏、第2部では当院の長野宏昭医師・山本亜紀子看護師と他2名による弦楽四重奏、第3部では皆巴奈津子看護師と友人によるピアノとエレクトーンのアンサンブルでした。第1部と第3部はクリスマスメドレー、第2部ではモーツァルト弦楽四重奏曲「狩り」・映画音楽が演奏され、会場いっぱいにお集まりいただいた観客の方々と演奏者が一体となって、



一足早いクリスマスを過ごしました。

様々なジャンルの曲をとり入れ、少しでも多くの人に楽しんで頂きたい一心で演奏しました。演歌では、会場から大きな歌声が聞こえ感動的でした。今後も皆さんの心の琴線に触れるような温かい音楽をお届けできればと思います。呼吸器科部医師 長野宏昭 記

● 海外たすけあいキャンペーン

日本赤十字社はNHKと共催で「海外たすけあい」義援金を募集し、当院も12月1日から25日まで院内の各所に募金箱を設置しました。皆様から総額93,413円もの心温まるご寄付をいただきました。これらの義援金は紛争や自然災害の被害者、飢餓や疾病に苦しむ人々への支援等様々な事業等にあてられます。たくさんのご協力ありがとうございました。

● キャロリング

12月21日（月）の夕刻、キャロリングが行われました。毎年クリスマス前に入院中の患者さんに少しでも「やすらぎとなぐさめを」との思いをこめて、当院の看護学生と看護師がろうそくを手には聖歌を歌いながら各病棟を回って行きます。病棟では、ゆらめくろうそくの灯火の中に看護学生たちの歌声が響きわたりました。



外来診療担当表

平成22年1月4日現在


午前診療 午後診療

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村	中島	邊見	木村	齋藤	
		松田	金坂	圓尾	喜多	波多野	
		川上	岡部	大崎	松尾	圓尾	
		犬塚		坂本	竹田		
		津村	中島	邊見	石川	齋藤	全て予約制
		松田	金坂		喜多	波多野	
消化器科(肝臓外来)		喜多	大崎	木村	恵荘	西川	午後は予約制
糖尿内科		隠岐	武呂	米光	隠岐	政次	午後は予約制
内分泌内科・肥満		米光	山下	武呂	政次	武呂	午後は予約制
血液内科		通堂	渡邊	杉野	金子	三浦	
		金子	三浦	通堂	渡邊	通堂	
		松井	渡邊	中村	金子	杉野	全て予約制
		金子	三浦	通堂	渡邊	藤井	
リウマチ・膠原病内科		井村	井村	井村		伊藤	
		井村	井村	井村			全て予約制
腎臓内科		渡瀬	森島	南方	森上	宮本	
		宮本	南方	渡瀬	宮本	南方	
		渡瀬	森島	南方	森上	宮本	全て予約制
		宮本	南方		宮本	南方	
循環器科		担当医	田中	伊藤	佐野	福地	
		林		稲田		田中	
		福地	伊藤	林	牧田	稲田	全て予約制
	林	田中	伊藤	佐野	福地		
		田中	稲田	佐野	福地	田中	
不整脈科		牧田	牧田		内山		
		(ペースメーカーICD)内山	牧田		内山		全て予約制
心臓血管外科				中山		中山	全て初診のみ
			坂本	瀧		坂本	全て予約制
小児科		山本	(アレルギー外来)住本	(アレルギー外来)田中	(腎臓外来)住本	金岡	
		(神経外来)新居	小林	葭井	田中	坂本	
		(血液外来)田中	竹川	肥田	越智	野村	
小児外科		松川		松川			
外科		田中	神原	端	河野	山木	注)緩和ケア外来の診療は2Fの緩和ケア外来相談室となります。
		花房	井ノ本	中島	有本	金澤	
		露木	担当医	坪田	露木	石川	
			(緩和ケア外来)端				
		田中	神原	端	担当医	山木	
		花房	井ノ本	中島	有本	金澤	
整形外科		渡邊	鈴木	坂本	大浦	富原	
		(1-3-5週)富	富	青山	堤	福田	
		(2-4週)青山					
		(脊椎外来)坂本	(膝関節外来)大浦	福田	(スポーツ肩外来)鈴木	(脊椎外来)渡邊	全て予約制
			(股関節外来)富原	(スポーツ長外)青山	吉田(予約)		
				(スポーツ肩外)青山	(スポーツ長外)青山	全て予約制	
リハビリテーション科		大浦	河野	鈴木	坂本	富原	
		大浦	担当医	鈴木	坂本	富原	
脳神経外科		担当医	岡本	担当医	岡本	小室	予約・紹介のみ
		担当医	橋本	担当医	新田	井坂	
		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		金田	高橋	中村	鈴木	加藤	全て初診のみ
		鈴木	加藤	金田	加藤	鈴木	全て再診のみ
		高橋	(隔週)中村	加藤(予約)	金田	中村	
呼吸器科		(喘息外来を兼ねる)吉村			西坂		午後は予約制
		網谷	西坂	網谷	中村	若山	
		花岡	黄	若山	時岡	(喘息外来を兼ねる)吉村	
		時岡	長野	中村	網谷(予約)	黄	
呼吸器外科			中出	渡辺		川邊	※手術相談外来は予約制
		(手術相談外来)中出		田中		山崎	
産婦人科		(午前:江本)午後:松本	(午前:西川)午後:砂田	(午前:橋本)午後:江本	中川	(午前:川島)午後:矢野	産科・助産師外来
		川島	松本	(午前:長野)午後:中川	吉岡	江本	婦人科外来
		吉岡	橋本	(午前:長野)午後:中川)午後:砂田、橋本、長野	西川	長野	午後は再診のみ
泌尿器科		光森	西村	川西	西村	岩村	全て予約制
		岩村	川西	仲島	仲島	光森	
		(不妊外来)光森	西村	川西	(前立腺外来)西村	(婦人尿失禁外来)仲島	
		岩村	川西	仲島			
眼科		柏井	柏井	廣井	柏井	田口	予約制 ※午後の専門外来は再診のみ。初診は、各専門外来日の午前中に、専門医の診察をお受けください。
		正井	藤原	田口	担当医	荒川	
		藤原	担当医	荒川	正井	担当医	
		廣井	田口・荒川	正井		廣井・藤原	
耳鼻咽喉科		樋渡	岡上	岡上		和田	
		田中	岩永	和田	担当医	岩永	
頭頸部外科		小西	樋渡	和	担当医	小西	
		隈部	平塚	平塚	担当医	隈部	
皮膚科		樋上	堀口	堀口		堀口	全て予約制
		政次	樋上	政次	(隔週)政次・樋上	樋上	
			堀口(予約)	(下唇腫瘍外来)堀口	(ケミカルピーリング)高瀬・太田	(下唇腫瘍外来)堀口	
形成外科		重吉	藤高	重吉	内藤	内藤	
精神神経科		吉田	早川	吉田	早川	吉田	
		伊達	山中	山中	伊達	早川	
			杉田	土戸	齋藤		
放射線科		藤堂	塩崎	塩崎	小山	古田	診断
		石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	治療
		古田	(外科)	藤村	(外科)	塩崎	検査(透視)
		小嶋・小山	古田・藤堂	小山・藤堂	小嶋・小山	小山・藤堂	検査(CT)
		塩崎	小山	古田	塩崎	古田	検査(MRI)
		塩崎	塩崎	(循環器科)	塩崎	塩崎	検査(RI)
		塩崎	古田		古田	塩崎	検査(血管造影)
		石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	治療
	小山・塩崎	塩崎・小山	塩崎・古田	塩崎・古田	塩崎・古田	検査(CT)	
	古田	古田	小山	小山	塩崎	検査(MRI)	
	塩崎	塩崎	(循環器科)	塩崎	塩崎	検査(RI)	
歯科		山田	杉立	森下	担当医	担当医	全て初診(紹介)のみ
		杉立	森下	杉立		杉立	全て再診(予約制)
口腔外科		森下	山田	山田		山田	

■当館は全面禁煙です

当院では館内を全面禁煙とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。



■受付時間(月~金) (診療開始は午前8:45からです)

- 初診の方/月曜日~金曜日 8:30~11:30
- 再診の方/月曜日~金曜日 8:00~11:45

■休診日 ●土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日~1月3日

■診察券 ●診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。

■ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護士にご相談ください)

- 平日/14:00~19:00 休診日/10:00~12:00、14:00~19:00
- 小児病棟(平日・休日とも)/14:00~19:00

■保険証等 ●保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各外来にお問い合わせください。

●お問い合わせ/TEL 06-6774-5111 (代表)

〈大阪赤十字病院〉 <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/> 〈赤十字全般〉 <http://www.jrc.or.jp/>

